

経営者なら知っておきたい景気の読み方/ 経済に強い経営者になる

Index

- 1 客観的な景気の見方で説得力を持たせよう
 - 2 好景気と不景気は繰り返す
 - 3 景気の基本である「景気循環」
 - 4 専門家の意見も参考にして景気を考えてみよう
 - 5 景気を判断する上で参考となる指標：経済全体
 - 6 景気を判断する上で参考となる指標：消費者心理
 - 7 景気を判断する上で参考となる指標：製造業、
商業・サービス業
 - 8 景気の見方を経営に役立ててみよう
-

1 客観的な景気の見方で説得力を持たせよう

「景気が良い・悪い」という話題は特にビジネスマンの間でよく聞かれる日常会話であり、ここ数年は「2020年の東京五輪が景気に良い影響を与えてくれるのでは」と期待する声も耳にします。景気は感覚的に「良い・悪い」と思っているとしても、実際の統計を見ると「思ったより良い・悪い」という状況が浮かび上がることもあります。

そこで本稿では、主観的・感覚的ではなく、客観的に景気を読み解くために知っておきたい各種経済指標の概要と活用方法を紹介します。

2 好景気と不景気は繰り返す

1) 不景気あるところ好景気あり

景気は「不景気 好景気 不景気 好景気……」を繰り返し循環するものです。そのため、不景気や好景気が連続することはなく、いずれ終わりが到来します。この不景気と好景気の循環を「景気循環」と呼びます。

2) 戦後の日本の景気循環

戦後の日本経済における景気循環は次の通りです。

(図表1) 【戦後の日本経済における景気循環】

循環名	谷	山	谷	期間			主な出来事
				拡張	後退	全循環	
第1循環		1951年 6月	1951年10月		4カ月		朝鮮戦争
第2循環	1951年10月	1954年 1月	1954年11月	27カ月	10カ月	37カ月	
第3循環	1954年11月	1957年 6月	1958年 6月	31カ月	12カ月	43カ月	神武景気
第4循環	1958年 6月	1961年12月	1962年10月	42カ月	10カ月	52カ月	岩戸景気
第5循環	1962年10月	1964年10月	1965年10月	24カ月	12カ月	36カ月	1964年東京五輪、証券不況
第6循環	1965年10月	1970年 7月	1971年12月	57カ月	17カ月	74カ月	いざなぎ景気、大阪万博
第7循環	1971年12月	1973年11月	1975年 3月	23カ月	16カ月	39カ月	第一次オイルショック
第8循環	1975年 3月	1977年 1月	1977年10月	22カ月	9カ月	31カ月	
第9循環	1977年10月	1980年 2月	1983年 2月	28カ月	36カ月	64カ月	第二次オイルショック
第10循環	1983年 2月	1985年 6月	1986年11月	28カ月	17カ月	45カ月	円高不況
第11循環	1986年11月	1991年 2月	1993年10月	51カ月	32カ月	83カ月	バブル経済
第12循環	1993年10月	1997年 5月	1999年 1月	43カ月	20カ月	63カ月	阪神・淡路大震災、消費税増税
第13循環	1999年 1月	2000年11月	2002年 1月	22カ月	14カ月	36カ月	ITバブル
第14循環	2002年 1月	2008年 2月	2009年 3月	73カ月	13カ月	86カ月	外需拡大、金融危機
第15循環	2009年 3月	2012年 3月	2012年11月	36カ月	8カ月	44カ月	東日本大震災
第16循環	2012年11月						2020年東京五輪開催決定

(出所：内閣府経済社会総合研究所景気動向指数研究会資料を基に作成)

(注) 上表は本稿の更新時点で入手可能な最新のものですが、その後の新しいデータの公表により遡及修正されることがあります。

サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。
サクセスネットサイトにログインした後、全文を
閲覧することができます。